

歌津の観光について語る夕べ開催報告書

- 1 催 事 名：歌津の観光について語る夕べ（第2回）
- 2 日 時：令和8年6月13日（土）午後6時から午後7時50分まで
- 3 場 所：歌津公民館（南三陸町歌津字管の浜60番地）
- 4 町出席者：4名
町長
歌津総合支所 支所長
商工観光課 課長
商工観光課 課長補佐
- 5 出席住民：17名

午後6時開会

（町）

皆様、本日はお忙しいところお集まりをいただきありがとうございます。ただ今から、歌津の観光について語る夕べを開催いたします。開会にあたり、町長が挨拶を申し上げます。

（町長挨拶）

（町）

ありがとうございます。続きまして、歌津地区の観光を取り巻く現状について説明いたします。観光客の入込客数や人口動態等を共有いたしますので、今後の意見交換の参考にしていただければと思います。

（町がパソコンを用いて歌津地区の観光を取り巻く現状について説明）

（町）

ここからは、ご参加いただいた皆様から様々な意見をいただきたいと思います。先ほど説明した現状に対する感想でも結構ですし、日頃から感じている観光面での課題や気になる点など、率直なご意見をいただければと思います。ご発言がある方は挙手でお知らせください。

（住民）

志津川地区と比べると歌津地区は賑わいが少ない。歌津地区に住んでいる住民としてコンビニには、買い物に行くが、その他の場所で買い物するということはない。歌津独自のものを活かしていくとすれば魚竜しかない。

（住民）

率直に感じることは、地元の方が地域のお祭りに来ないし、地元のシロウオ等も食べない傾向にある。今年は、田東山のツツジの開花も良いものではなかったのが残念に感じている。また、

新型コロナウイルス感染症の影響で、地域の活気が無くなったように感じる。

(住民)

今年は乾燥の影響によりツツジの見栄えが良くなかったし、アカマツも非常に枯れたという印象がある。

観光の目的は、見えないものに光を当てることであると思っているが、それを担うのが地域の方々である。これからは地域の歴史や文化を活かすことが重要であり、観光資源（人）の育成が必要。

(住民)

上沢地区の奥は遊休農地が多い。田束山には宗教関係や植物、鳥の観測のために登ってくる方も多い。歌津地区にはこのように素晴らしい自然がある。しかしながら、旧道は荒れた状態になっている箇所も多いので、とても残念に感じる。まずは、環境整備に努めていただき、多くの人に来てもらうことが大事だ。

(住民)

歌津地区でしか見れないものがたくさんあると感じている。しかしながら、そのような情報が埋もれてしまっている。また、歌津地区には、見る、食べるといった資源が散らばっているので、これを一つに集約していくことが大事。現在 **Hookes**（ほっけす）として活動をしているが、今回提案したい内容があるのでお時間をいただきたい。

(スライドを用いて企画案を発表)

(住民)

交流人口の減少が顕著であると感じた。最初は新型コロナウイルス感染症が原因かと思っていたが、それが終息しても現状は変わっていない。道路が便利になったことで、歌津を通り過ぎて気仙沼に行く方も多い。歌津地区にはツツジ、化石等の資源がある。これに加えて、先人の知恵も活用したり、エヴァンゲリオン関連の聖地としての検討も一つの策であると思っている。

(住民)

昨日も、この会に参加した。観光交流施設を建設するうえで、一番大事だと思うのはマネジメントだと思う。これがうまくいかないと潰れてしまうので、万全な準備をしていただきたい。一番最悪なのは、施設を建設して終わりというのだけは避けて欲しい。

(住民)

観光とスポーツを組み合わせる交流人口の拡大を図っていくというのも一つの手段であると思う。バドミントンとテニスと卓球を組み合わせたピククルボール等の普及も効果があるのではないだろうか。加えて入浴施設も必要ではないだろうか。

(町)

皆様、貴重なご意見ありがとうございました。今後は、検討委員会なるものを立ち上げて整備検討を進めて、歌津地区の観光振興に向けた具体的な施策を講じていきたいと思います。また、今後の状況については、町のホームページ等を通じてお知らせするとともに、会議結果も公開していきますので、引き続きご関心いただければと思います。

午後 7 時 5 0 分終了